

令和6年度第3回授業公開（12月～1月）時間割

※本時間割は、11月28日時点のものです。時間割は今後変更となる可能性があります。

各授業の分野： 基盤教育科目 経営科目群 経営情報科目群 情報科学科目群

	年次	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		科目	担当	科目	担当	科目	担当	科目	担当	科目	担当
1	1年			検定英語Ⅰ (基礎)	大前						
				検定英語Ⅰ (応用)	三村						
8:50~ 10:20	2年							生産管理論	谷藤	地域産業論	谷藤
2	1年			日本経済論	雲然	情報メディア演習	大志田				
10:30~ 12:00	2年	経営財務論	松本	プログラミング演習Ⅲ	大志田	地域政策論	和川	経営学特講B	雲然		
3	1年	経営情報システム論	昇高	システム演習Ⅰ	昇高			プログラミング演習Ⅱ	大志田	日本語文書・表現法	田中
								経営戦略論	鈴木		
13:00~ 14:30	2年			マーケティング論	鈴木						
4	1年			簿記演習	松本			プログラミング演習Ⅱ	大志田		
								現代日本語形成論	田中		
14:40~ 16:10	2年			オペレーションズ・リサーチ	昇高						
5	1年	基礎英語Ⅱ (A・B)	大前								
		基礎英語Ⅱ (C・D)	三村								
	16:20~ 17:50	2年			総合英語Ⅱ	大前					

【注意事項】

- 年末年始期間（12月24日（火）～1月5日（日））及び1月17日（金）は休講となります。
- 1月15日（水）は金曜日授業となります。
- 他、日によって休講となる講義もありますので、ご了承ください。詳しくはお問合せください。

令和6年度第3回授業公開 授業概要

授業科目名(英語名)	経営財務論(Business Finance)
担当教員 所属	松本 安司 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	経営財務(ファイナンス)は主に、何に投資するか、どの方法で資金調達するか、結果として得たものをどのように配分するか、の三つと結びついています。授業ではそれぞれの経営財務の知識を、計算方法のみならず目的と関連付けて、その意義がわかるように講義します。この授業では特に「何に投資するか」に多くの時間を割き、一番の目標を「期待リターンとリスクに基づいて意思決定する」という思考法を身に付けることとします。
授業科目名(英語名)	経営情報システム論(Management Information System)
担当教員 所属	昇高 茂樹 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	企業における情報システムに求められる機能に関する技術について修得し、さらにその開発法を修得することを目的とする。また、経営情報学科の卒業生として期待される、「職場の情報化」に携わる者に必要な、ITパスポート試験(情報技術者試験)に関する事項も授業で扱ったトピックスに関して解説する。また、学部の目標である「実社会に有用な知識と確かな専門技術の修得」に関連する。
授業科目名(英語名)	基礎英語Ⅱ(A・B)(Basic EnglishⅡ)
担当教員 所属	大前 義幸 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	現在、英語は英語圏のみならず世界中で用いられる国際語です。日本でも英語コミュニケーションの素養があれば、仕事や研究活動に非常に役立ちます。英語によるコミュニケーション能力を育成するのが本授業の狙いです。 この授業では、これまでの1年生の英語の授業で培った英語の四技能と呼ばれるリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの能力を更に高めしていくことを目標とします。また、外国人教師の授業を通じ、英語という言葉以外にも、英語圏の文化や習慣にも触れていきます。
授業科目名(英語名)	基礎英語Ⅱ(C・D)(Basic EnglishⅡ)
担当教員 所属	三村 敬之 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」、「どれだけ多くの英語を使うか」ということが必要とされます。努力があつて初めて英語の力がついていきます。この授業では、「読む」と「書く」技能を中心に、英語の基礎力を高めることをねらいとします。 授業では、各回1つの身近な話題についての英文を読むことにより、内容を的確に把握します。また、高校までに学習した英文法について学習します。 また、ALTとの授業では、会話に必要なできるだけ平易な表現を身につけて、実際にやりとりをしていきます。その中で、異文化を理解するとともに、私たちが暮らしている日本について深く学んでいきます。 <授業の概要> (1) 90分の授業のうち、主に英文読解と英文法について学習します。 (2) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。 (3) 外国人指導助手(ALT)との授業を通じて、様々な場面での表現の仕方や外国の文化・習慣を学んでいきます。
授業科目名(英語名)	検定英語Ⅰ(基礎)(English Language QualificationⅠ Intermediate)
担当教員 所属	大前 義幸 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	英語を学ぶことは、自分の物事に対する見方や考え方を広げ、人間性を高めることに大きく貢献します。また、英語を学ぶことで、私たちが暮らしている日本を深く学ぶことにもつながっていきます。さらに、異文化間の相互理解を深められます。 その英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」ということが必要とされます。努力があつて初めて英語の力がついていきます。 この授業では、将来のTOEICテストを見据え、「読む」と「聴く」技能を中心に、総合的な英語力の向上を目指します。授業では、初中級レベルのTOEIC Bridge準拠の問題から始めて、徐々にレベルを上げ、最終的にはTOEIC400~500点レベルまで学力を上げることを狙いとします。 <授業の概要> (1) この授業ではTOEICに準拠したテキストを用いて学習します。 (2) 輪読形式で英文読解を行います。 (3) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。

授業科目名(英語名)	検定英語 I (応用)(English Language Qualification I Advanced)
担当教員 所属	三村 敬之 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>英語を学ぶことは、自分の物事に対する見方や考え方を広げ、人間性を高めることに大きく貢献します。また、英語を学ぶことで、私たちが暮らしている日本を深く学ぶことにもつながっていきます。さらに、異文化間の相互理解を深められます。</p> <p>その英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」ということが必要とされます。努力があつて初めて英語の力がついていきます。</p> <p>この授業では、将来のTOEICテストを見据え、「読む」と「聴く」技能を中心に、総合的な英語力の向上を目指します。授業では、初中級レベルのTOEIC Bridge準拠の問題から始めて、徐々にレベルを上げ、最終的にはTOEIC400~500点レベルまで学力を上げることを狙いとします。</p> <p><授業の概要></p> <p>(1)この授業ではTOEICに準拠したテキストを用いて学習します。</p> <p>(2) 輪読形式で英文読解を行います。</p> <p>(3) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。</p>

授業科目名(英語名)	日本経済論(Japanese Economy)
担当教員 所属	雲然 祥子 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>事あるごとに「日本経済はどうなるのか」という言葉が聞こえるが、そもそも日本経済はこれまで、どのような歩みをたどってきたのであろうか。この講義では、日本の近代・現代における日本経済の概要とその流れをいくつかの時期に区分し、それぞれの時期の特徴について考える。そして、日本経済の現状とその将来を考える手がかりとしたい。</p>

授業科目名(英語名)	プログラミング演習Ⅲ(Computer Programing Ⅲ)
担当教員 所属	大志田 憲 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>これまでに学習したプログラミング科目をベースに、Java言語を用いてオブジェクト指向言語の特徴や概念、その用途について理解する。</p>

授業科目名(英語名)	システム演習 I (System Practice I)
担当教員 所属	昇高 茂樹 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>現代社会においてコンピュータシステムは必要不可欠なものとなっています。</p> <p>本講義ではコンピュータシステムに広く使われているLinuxの基本的な使い方を演習を通して修得していくことを目的としています。将来、情報系の企業などでサーバー関係の仕事や情報系の大学に進学予定の者にとって必要な基礎知識となります。また、学部目標である「情報の取捨選択能力と活用能力」に関連します。</p>

授業科目名(英語名)	マーケティング論(The Theory of Marketing)
担当教員 所属	鈴木 将人 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>マーケティングの考え方を事例分析などを通じて学びます。企業は、製品・サービスをわれわれ消費者に提供し利益を上げるために、さまざまな工夫や努力をしています。授業では、こうした企業の市場へのアプローチをマーケティングという観点から学んでいきます。</p>

授業科目名(英語名)	簿記演習(Practical Bookkeeping I)
担当教員 所属	松本 安司 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>日商簿記3級取得を目指した授業です。</p> <p>特に、前期の基礎簿記論ではあまり触れなかった決算整理仕訳などの決算手続きについて講義します。</p>

授業科目名(英語名)	オペレーションズ・リサーチ(Operations Research)
担当教員 所属	昇高 茂樹 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>現実の世界には解決すべき問題がたくさん存在します。しかしながら現実世界のままでその問題の答えを求めることは非常に困難なため、その特徴を生かしたモデルを作成し、そのモデルを解析することで元の問題に対する答えを導く手法が用いられます。</p> <p>オペレーションズ・リサーチ(OR)では、このモデル化に際し線形代数、組み合わせ、確率などの数学的手法を用いて最も効率的な答えを導き出します。本講義では、ORの考え方や基礎知識、関連知識の修得及び経営的な問題に対して基礎知識・技能を学び演習を行うことで応用する力を養います。</p>

授業科目名(英語名)	総合英語Ⅱ(Integrated English Ⅱ)
担当教員 所属	大前 義幸 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	現在、英語は英語圏のみならず世界中で用いられる国際語です。日本でも英語コミュニケーションの素養があれば、仕事や研究活動に非常に役立ちます。英語によるコミュニケーション能力を育成するのが本授業の狙いです。 この授業では、これまでの1年生の英語の授業で培った英語の四技能と呼ばれるリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの能力を更に高めしていくことを目標とします。また、外国人教師の授業を通じ、英語という言葉以外にも、英語圏の文化や習慣にも触れていきます。

授業科目名(英語名)	情報メディア演習(Computer Media)
担当教員 所属	大志田 憲 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	この科目はコンピュータ上で取り扱う画像やWebページ等の様々なデータの基本的な仕組みや作成・編集方法、管理方法を学習します。また、それらをネット上で利用する際の注意点にも触れます。主にコンピュータグラフィックス(CG)について中心に学習し、他にも音声、動画、インターネット上でそれらを公開するWebページの仕組みについても学習していきます。 コンピュータ上で扱う様々な画像等メディアの知識は、インターネット上だけではなく、ビジネス文書やプレゼンテーションにも利用されることから今後重要となるものでもあります。

授業科目名(英語名)	地域政策論(Regional Policy)
担当教員 所属	和川 央 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	自治体は、都道府県や市区町村などの地域を対象に、そこに居住する人、企業、団体等を対象に様々なサービスを提供する、最も身近な行政機関である。そこでは、それらのサービスが提供されるまでの間、複雑な仕組みの中で、膨大な意思決定が行われている。本講義では、自治体における政策形成の仕組み、その手法について論じることで、自治体政策について理解する。

授業科目名(英語名)	生産管理論(Production Management)
担当教員 所属	谷藤 真琴 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	経営における技術の扱い方を知ることは、技術を専門としない学生にとって重要なことである。またこの科目では技術ばかりでなく、サービスやマーケティングと技術の関係をより実務的な観点から学ぶ。 そこで本授業では現代企業の生産機能や技術機能のしくみであるものづくりの基本を経営学の視点から理解し、ものづくりの基本を捉えながら、これまでの生産システムが国際競争のなかでどのような課題を抱えるか、そして今後どのように日本企業が競争力を維持発展できるか考えていく。加えて、狭義の生産管理にとどまらず、技術経営やイノベーションマネジメントについても触れながら、社会人として実践できる知識を修得する。

授業科目名(英語名)	経営学特講B(Current Topics in Business Administration B)
担当教員 所属	雲然 祥子 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	この講義では「『東北』の経済と開発の歩みを考える」をテーマにして、私たちが住んでいる「東北」で行われてきた経済政策とその展開について、歴史的なところから分析・考察する。 私たちが住んでいるこの「東北」が、日本経済の歩みの中でどのように位置づけられ、どのような役割を担うようになったのかについて、当時の資料などを用いながら検討する。その中で、「東北」に対してはどのような政策が展開されたのかなどを、各地域でみられたことをケース・スタディとして取り上げて考える。それらをふまえて、「東北」の現在と将来を考える。

授業科目名(英語名)	プログラミング演習Ⅱ(Computer Programing Ⅱ)
担当教員 所属	大志田 憲 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	この科目はプログラミング演習Ⅰでの学習をもとに、C言語を用いて、関数やポインタ、ファイル操作などの基本的な考え方を学習するとともに、情報処理技術者を目指すためのプログラミング技術を身につけます。

授業科目名(英語名)	経営戦略論(Strategic Management)
担当教員 所属	鈴木 将人 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	経営戦略論の主要な概念・理論を学びます。経営戦略とは、競合他社を上回る利益を獲得することを意図した意思決定や行動などを意味しています。授業では、このような特徴を持つ経営戦略に関する考え方の学修や事例分析を通じて、戦略にかかわる経営現象について考えます。

授業科目名(英語名)	現代日本語形成論(The Formation Process of Modern Japanese)
担当教員 所属	田中 宣廣 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>①現代日本語の成り立ちに関して、2部構成で考察します。</p> <p>②【第1部:今,身近にあることばの成り立ち】:現在皆さんがよく使い,あるいは,耳にする「身近なことば数例」について,「どう形成されたのか,その『源(みなもと)』を理解する」ことを,いわば『例題』として,「現代日本語の形成全般に関する認識を持つ」ことが目的です。</p> <p>③【第2部:日本語辞書の成り立ち】:「第1部」で持っていた「認識」をもとに,日本語の成り立ちや,その約束事を整理してある「辞書」について,『大人』としての使用が可能ないように考察します。</p> <p>④「第1部」および「第2部」の講義を通して,現代日本語の語句の意味を,各々その成り立ちから認識することの大切さを考えます。</p> <p>⑤楽しく,皆さんの興味を引き出しながら,短期大学学生として恥ずかしくない,成人の日本語力を付けることを目指します。</p>

授業科目名(英語名)	地域産業論(Regional Businesses)
担当教員 所属	谷藤 真琴 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>地域産業に関する議論は政治学、経済政策などのマクロ的視点から捉えられることが中心であった。しかしこの授業では政策ではなく、地域企業の観点から経営学を交えて地域産業を捉えていく。地域企業の観点から地域を活性化するには、地域企業に対する基本的な見方や考え方を幅広く知っておく必要がある。また世界中で成功している地域産業のパタンを知ることによって、日本の地域産業に対する見方や考え方を養う。そこで本授業ではさまざまな地域産業の具体例を紹介しつつ、地域産業を考えるうえで必要な目(概念・理論)を習得し、受講者各自が地域産業の活性化を通じて地域へ貢献できるようになることを目標とする。</p>

授業科目名(英語名)	日本語文書・表現法(Lecture and Drill for Japanese Expression in Writing)
担当教員 所属	田中 宣廣 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>①学術論文の構成法の基本,および,論述内容について考察します。</p> <p>②現在の論文やレポート作成の主流であるパソコンを使った作成法を考察します。</p> <p>③パソコン利用に必要な日本語の文字の成り立ちやローマ字の仕組みについて考察します。</p> <p>④社会人として,日本語のさまざまな社会的書き方の社会的役割を正しく認識し,考察します。</p> <p>⑤コミュニケーションと文章表現の関係について考察します。</p>